

天文学とプラネタリウム

第115回



今月のお題

宇宙な感じのエコバッグ

いつもの買い物にも、宇宙を感じるエコバッグを持参しませんか？



www.tenpla.net

高梨直紘 (東京大学)

平松正顕 (国立天文台チリ観測所)

最近、エコバッグな雰囲気です。いつも買い物に行くスーパーでも、とうとう買い物袋が有料化しました。「買い物袋はご利用ですか？」と聞かれる度に、エコバッグを買わないとなあと思ってはいたのですが、なかなか無いのです。宇宙な感じのエコバッグが。こういう時、天プラ的にはどうするか。そう、ないのなら、つくってしまえ、エコぱっぐ。そんな訳で、天プラ版エコバッグを作ってみました。

宇宙の輪廻転生

大量生産、大量消費の象徴とも言える使い捨ての買い物袋の代わりにエコバッグを使うことは、限りある資源を有効活用する文化を育てることにつながり、ひいては持続的社会的実現に資するはず（たぶん）。そのようなエコバッグの理念にふさわしい宇宙の現象といえば、それはなんと言っても星の輪廻転生でしょう（たぶん）。

永遠とも思える星の輝きですが、宇宙の時間の流れからすれば、生じては消えて、消えては

生じてを絶えることなく繰り返していることは、星ナビ読者の皆さんならご存じでしょう。宇宙空間を漂うガスが集まって分子雲を作り、そこから赤ちゃん星が生まれて大人の星になり、年老いて赤く大きく膨らんだ星は、そのまま宇宙に溶けてゆか、あるいは超新星として派手に飛び散ってその一生を終える。約50億年前に生じた私たちの太陽も、約50億年後には再び宇宙を漂うガスの一部となるのです。宇宙に解き放たれたガスは、また次の星の材料となります。まさに、宇宙は究極のリサイクル・システム。

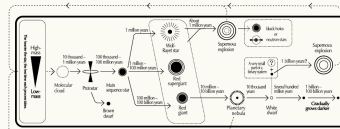
行く河の流れは絶えずして、しかも、もとの水にあらず。淀みに浮かぶうたかたは、かつ消え、かつ結びて、久しくとどまりたる例なし、と兼好法師も書き残したように、無常観は日本の伝統的思想のひとつ。このような変化の思想は、宇宙で繰り返される星の輪廻転生とも通じるものがあるように思います。

この宇宙に偶然にも生まれおちた私たち。あなたもわたしも、あれもこれも、もちろんこのエコバッグの中にもしまわれたものも、身近にあるものはすべてこの輪廻の中にあります。いつ

アイソン彗星観望会を六本木ヒルズで開催します！

The life of a star

Stars are formed in clouds of gas and dust called nebulae. The matter of one star will be born, after depending on the mass. Many of the materials that make up the stars ultimately return to the interstellar space, becoming the materials for the next generation of stars.



星の輪廻転生/19/4/26/100%

宇宙図にある、星の一生を表現した図をベースにリデザインしたエコバッグの柄。超新星ってなんだっけ？と気になった時には、いつでも確認できる優れた機能付き。

もの買い物でも、ふとそんな事を意識すれば、買ったものにもいっそうの親しみがわく事でしょう。宇宙を感じるエコバッグ、ぜひご愛用下さい。

宇宙図関連アイテム紹介サイトはこちら▶▶

<http://www.tenpla.net/diagram/>